

守護霊が誰であるかより、あなたに何を求めているか。前世が何だったかよりも、前世においていかなる課題を残しているのか。そういったことを知ることが大切なのです。そうやってスピリチュアルなことから、人生に楽しいワクワクするようなことを求めている人がいますが、楽しいだけの人生など愚かなことです。どんな苦難があっても向上心を持って生きていくということは、確かに理論的なことで、ワクワク浮ついたものではないのです。

なかにはチャネリングだ宇宙だと言って、ただ自分の空想の世界に入り込んでしまう人もいます。現実から逃避して半分精神病のようになっている人もあります。私は、精神世界を求める人は本当に人生の苦難に立ち向かっていける人が目指すべきで、逃避する人だと逆作用になると考えています。副作用が大きく、人生の足元を滑らせることがまあるのです。

新興宗教や自己啓発セミナーのようなものにしても、自分を発見するためのひとつの術として、自分の責任でやるなら利用しても良いと思います。しかし、往々にしてそういうセミナーは仲間作りのものが多く、参加する人も自分に気づきたいから、というより、寂しい、人にわかってもらいたいという気持ちが動機になっていることが多いのです。魂はそれぞれ別個のものなのだから、仲間作りより自分自身の生き方を見直すようにしなければい

けません。

占いや精神世界に興味を持って、訪ねてみようとする人は、まず考えてみてください。誰かや何かに頼りたいという依存心、現実から逃避したいという気持ち、精神世界を知っていることや守護霊や前世がこうだからというような自惚れを得たいがために、そこへ入り込んではいませんか。それらは元来、すべて自分の生き方を知るためにあるものなのです。依存や逃避、自惚れのために使わずに、自分自身をよりよく知るため、自分に気づくために活用するのだということを忘れないでください。

心霊バイブル マガジンハウス 江原啓之